

政策4 スポーツを軸としたまちづくりの推進

【担当部局】文化スポーツ振興部

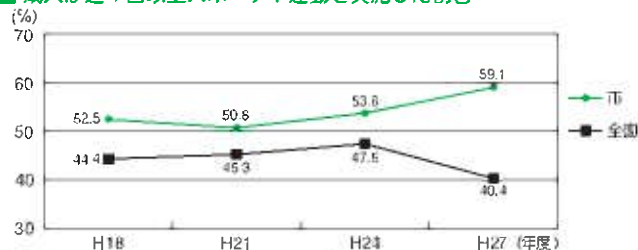
施策1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進

スポーツ課

現況と課題

◆成人のスポーツ実施率は増加しており、全国に比べると高い状態にあります。近年、医療費の抑制や健康寿命延伸の観点から、スポーツや運動による日常的な健康づくりが注目されており、仕事や家事、育児で忙しい世代や高齢者がスポーツを身近に感じ、楽しめる環境を整備する必要があります。

■ 成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合



資料 スポーツ課(「まちづくりアンケート」)、内閣府・文部科学省(「体力・スポーツに関する世論調査(平成24年度まで)」)、内閣府(「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査(平成27年度)」)に基づく文部科学省推計

目指す状態

気軽にスポーツや運動に親しめる環境が整い、市民が自分に合ったスポーツや運動を楽しんでいる。

主な取組

- ◎スポーツを通じた健康増進や健康寿命延伸につながる取組を推進します。(スポーツ課、健康課)(2-4-1関連)
- ◎総合型地域スポーツクラブ[※]やスポーツ推進委員の育成・活用など、地域における自主的なスポーツ活動を促進します。(スポーツ課)
- ◎障害者のスポーツ参加の機会拡大やだれもが使いやすい環境づくりを推進します。(障害福祉課、スポーツ課)
- ◎競技力の向上と競技者の底辺拡大を推進します。(スポーツ課)
- ◎スポーツ施設のあり方を検討しながら、計画的に整備・改修します。(スポーツ課)

アンケート指標(市民が思う割合)

■ 環境や体制に関する評価 👤 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
■ スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている 👤 (設定なし)	54.8%	

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
スポーツ実施率	成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合	59.1%	65.0%

個別計画

第二次長野市スポーツ推進計画、ながの健やかプラン21(第三次長野市健康増進計画・第三次長野市食育推進計画)、長野市障害者基本計画

※ 総合型地域スポーツクラブ…身近な生活圏である中学校区程度の地域において、学校体育施設や公共スポーツ施設を拠点としながら、年代・性別・技術レベルに関係なくだれもが気軽に参加できる地域住民が主体的に運営するスポーツクラブのこと。

施策2

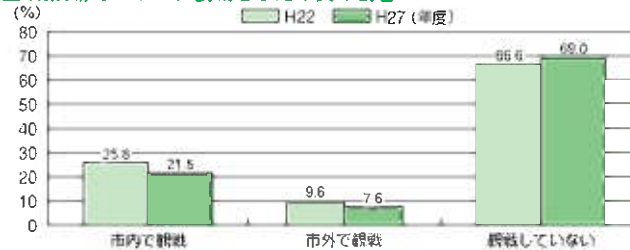
スポーツを通じた交流拡大の推進

スポーツ課

現況と課題

◆大規模スポーツ施設が充実しており、プロスポーツや国際大会・全国大会などの各種競技大会が開かれているものの、市内のスポーツ施設で観戦する市民の割合は約2割となっています。引き続き、国際大会などの誘致・開催や地域密着型プロスポーツチーム[※]の支援を通じ、「見る」「支える」「交流する」などスポーツとの新たな関わり方や楽しみを広げていく必要があります。

■ 競技場でスポーツ観戦をした市民の割合



資料：スポーツ課(「長野市スポーツ振興市民アンケート」)

目指す状態

多くの市民が市内のスポーツ施設で観戦し、スポーツを通じた交流人口が拡大している。

主な取組

- ◎大規模スポーツ施設を活用した国際大会や全国大会などを誘致・開催します。(スポーツ課、観光振興課)(G・1・3関連)
- ◎長野マラソンや全国中学校スケート大会の継続開催など、宿泊滞在型のスポーツイベントを支援します。(スポーツ課、観光振興課)
- ◎地域密着型プロスポーツチームの活動を支援します。(スポーツ課)
- ◎オリンピックムーブメント[※]を継続的に推進します。(スポーツ課、観光振興課)

アンケート指標(市民が思う割合)

■ 環境や体制に関する評価 ■ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
■ プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている	35.1%	40%
■ 市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している	22.8%	30%

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
南長野運動公園総合球技場入場者数	スポーツの観戦、イベント等の入場者数	171,228 人	251,500 人

個別計画 第二次長野市スポーツ推進計画、長野市観光振興計画

※ 地域密着型プロスポーツチーム…地域を拠点とし、株式会社などの経営体が運営するプロスポーツチームで、試合での活躍や試合以外でのイベントへの参加など地域と密着して活動し、地域住民はチームの応援や公費となるなどサポートを行う。このような関係を保ちながら活動することで、ファンを獲得し観客数増加につなげるとともに、地域のスポーツ振興や地域活性化に寄与する効果がある。

※ オリンピックムーブメント…いかなる差別もなく、友好、連帯、フェアプレーの精神をもって、相互理解を推進する「オリンピック精神」に基づき、スポーツを通じて青少年を育成することにより、平和でより良い世界を建設し、国際親善に貢献しようとする。